平成 23 年度　事業計画

１．全般的運営及び正副会長管掌事項

（１）　協会設立 65 周年事業の開催

（２）　一般社団法人化

（３）　所轄官庁との交流

経済産業省自動車課と執行部による緊密な交流連絡をさらに強化する。

できれば年二回テーマに基づいて懇談会を開催する。(必要に応じて関係委員長を含む)

（４）　同業諸団体との交流会及び連絡強化

・国際物流総合展の主催 7 団体（(社) 日本ロジステックシステム協会、(社)日本能率協会、(社)日本産業機械工業会、(社)日本産業車両協会、(社)日本パレット協会、(社)日本物流システム機器協会、そして当協会）との連携を密にし、情報交流を進める。

・物流機器関連協会との情報交流

（５）　会員増強対策

「組織委員会」にて対応・実施する。

業界関連企業に対し広く会員の協力を得る。

（６）　理事会・各部会・各委員会の企画運営を円滑に進めるために「企画運営委員会」を充実させる。(年 4 回開催　7 月　9 月　1 月　3 月)

（７）　部会活動の強化

JIS　ISO 等の規格見直し、作成、推進。

（８）　対象製品範囲の見直し

（９）　新事業の検討、勉強会、研修会、施設見学会等の実施

２．各委員会事業計画

１．総務委員会

（１）　一般社団法人化手続きの補助

（２）　協会設立 65 周年事業実施補助

（３）　地区会員懇親会実施の補助

（４）　次年度予算案の作成

（５）　その他

２．広報委員会

（１）　他団体との積極的な交流、情報交換の実施

（２）　ホームページの継続的な更新

（３）　協会設立 65 周年事業実施補助

３．技術委員会

（１） JIS 原案作成に関する出前研修の実施

（２） 関係諸団体（(社)日本産業車両協会、(社)日本物流システム機器協会、(社)日本パレット協会）との交流

（３） 所轄官庁との交流

４．組織協会員会

（１） 業界関連企業に対し、広く会員拡大の協力を得る

５．企画運営委員会

（１） 協会設立 65 周年の事業の実施

（２） 一般社団法人化の手続き実施

（３） 価値ある協会づくりへの企画運営の実行

各委員会、部会の活動の活性化

価値ある企画立案と実行・・・講演会、勉強会、施設見学会の開催

（４） 所轄官庁との交流

経済産業省自動車課との緊密な連絡交流の実施

（５） 物流関連団体との交流及び連絡強化、情報交流

（６） 会員増強

（７） 対象製品範囲の見直し

３．各部会事業計画

１．ハンドトラック部会

（１） JIS　B8920「ハンドトラック」の継続見直しと改正部会案のまとめ

（２） AIS　HT18「プレス製ハンドトラック」及び
AIS　HT1～15「ハンドトラック関係の試験・検査基準」の継続見直しと改正部会案のまとめ

（３） 製品の「取扱説明書」の業界としての統一案を検討

（４） 安心安全に関し「消費者安全法」「NITE」の内容を研究、検討し取り組む

（５） 上記の JIS、AIS 規格の改定に関して他 2 部会との関連が他面にあるため、最終的に意見交換会の合同会議を検討

２．リフト部会

（１） JIS　B8925「テーブルリフト付きハンドトラック」の見直し

（２） 警告表示についての検討

（３） 上記の JISS 規格の改定に関して他 2 部会との関連が他面にあるため、最終的に意見交換会の合同会議を検討

３．車輪・キャスター部会

（１）JIS　S1038「事務椅子用キャスター」の規格見直し検討

（２）JIS　B8992「産業用車輪」及び B8993「産業用キャスター」の規格についての見直し

（３）上記の JIS 規格の改定に関して他 2 部会との関連が他面にあるため、最終的に意見交換会の合同会議を検討

４．主要年間行事

平成 23 年

5 月 24 日　役員会・総会・懇親会

9 月初旬　役員会・第 1 回経済産業省担当官との交流会

9 月下旬　一般社団法人化へ移行

11 月上旬　65 周年記念懇親会

11 月上旬　施設見学会　羽田空港

平成 24 年

1 月　役員会・新年賀詞交歓会

3 月　役員会・第 2 回経済産業省担当官との交流会